

通り名等の表示について（新規）

織物産業で古くから栄えた桐生には、重伝建地区をはじめとする市内各所に歴史的通り名（通称）が付いた通りや路地などが多く存在しています。これらを調査、掘り起こして、来桐者にもわかりやすく表示し、まちの資源として活用すべきと考えます。

しかし、これらは道路や公共物に於いての表示設置が考えられ、行政がこの価値を認識し、リードしていただき、市民と連携しての推進をお願いします。

桐生市からの回答

重伝建地区内の「買場通り」や「糸屋通り」など、市内各所の通りや路地に付けられた通り名（通称名）は、桐生の歴史や織物と深い関係性があり、住民にとっては馴染み深いものであります。また、来桐者にとっては桐生市がどのような街であるかを理解しやすいものであると考えます。

通り名の調査、道路等への表示につきましては、専門家や地元住民からの聞き取りや関係機関等との調整が必要であるため、多大なる時間を要するものと考えられますが、まずは市民の皆様はその必要性が認識され、事業推進への気運が高まることが重要であると考えます。

〔回答担当〕 産業経済部観光交流課観光振興担当